

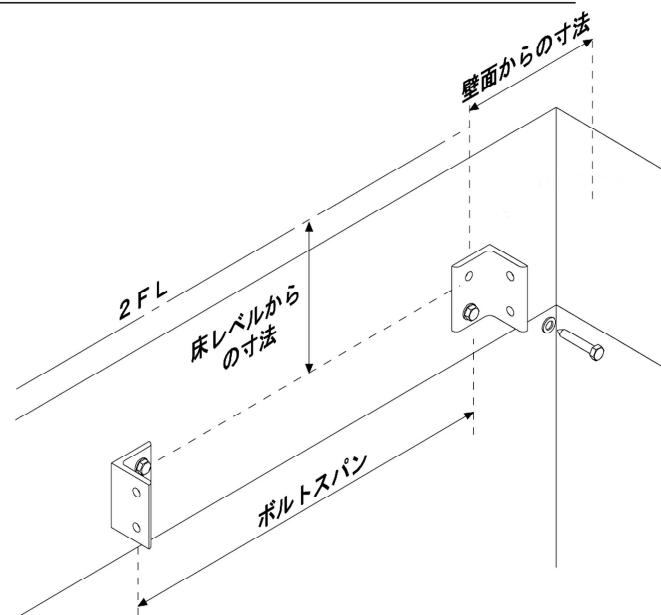
# 取付手順書（システム・THS）

## 施工前の状況

- ・フローリングは仕上がっている。
- ・階段の接近する壁の石膏ボードとクロスは仕上げた状態。

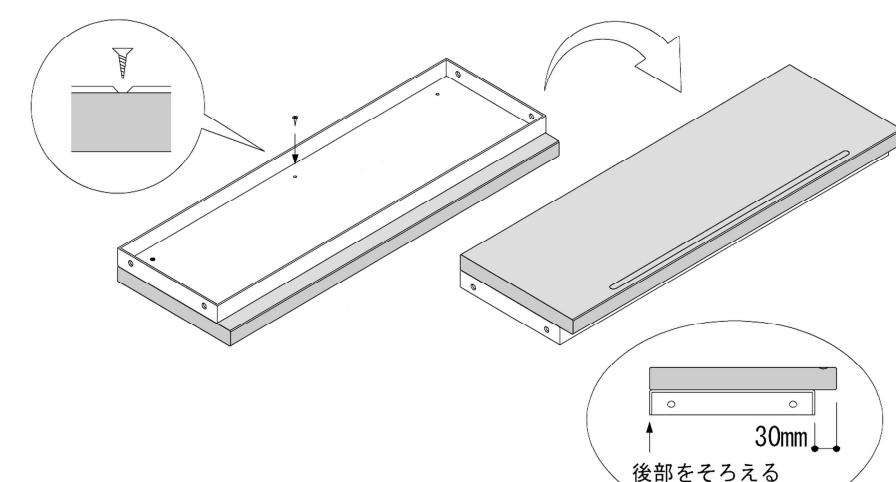
2014.01 (03)

## 1 ササラ桁固定アングルの設置



既送の図面を参照し、左右いずれかの壁面及び上階床レベルよりセットアングルの固定位置を追い出し、ボルト位置をけがく。そこに8mmの下穴を明け、セットアングルをコーチボルトで固定する。

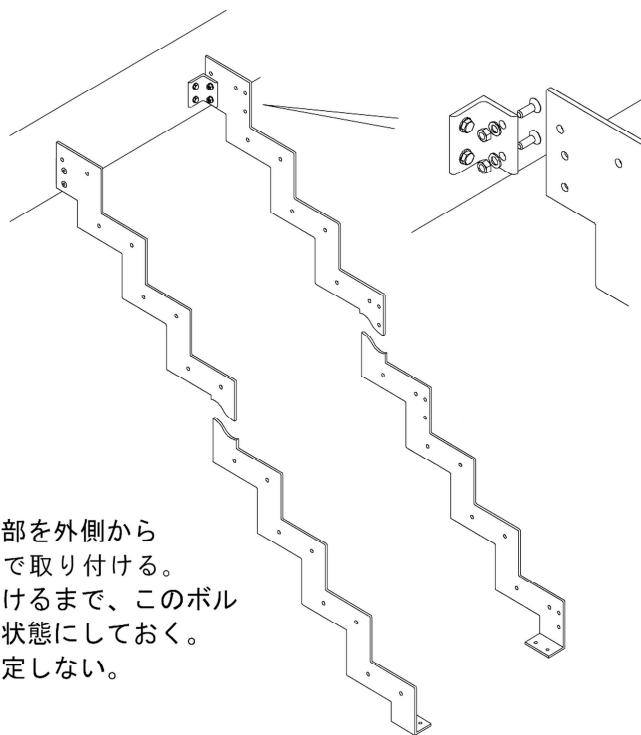
## 3 鋼製踏板と木踏板の固定



鋼製踏板と木踏板をM4木ネジで取り付ける。  
木踏板のノンスリップ溝のある方を上にし、  
図のように後部を揃えて段鼻側が30mm出る  
様にして固定する。

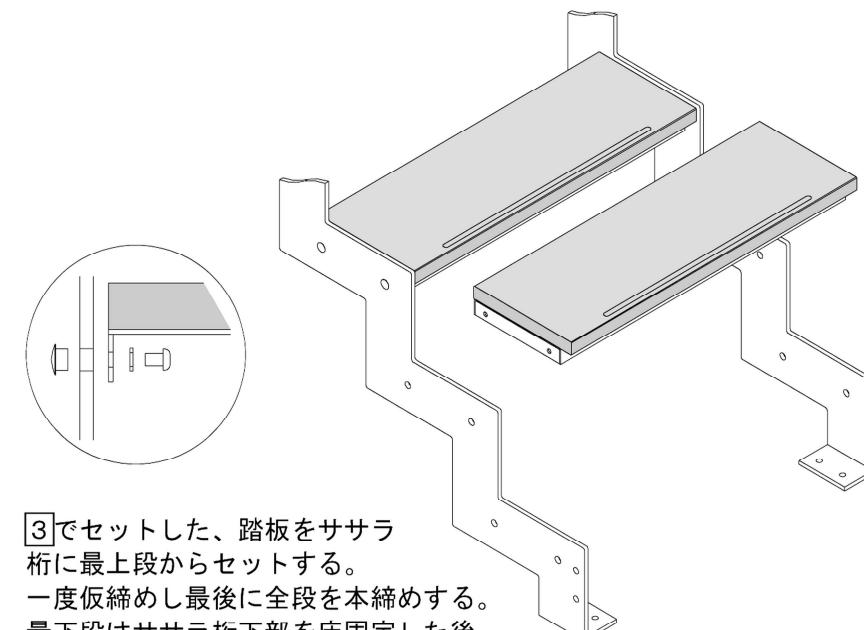
※ 最上段はサイズが違うので注意。

## 2 ササラ桁の上部をセットアングルに固定



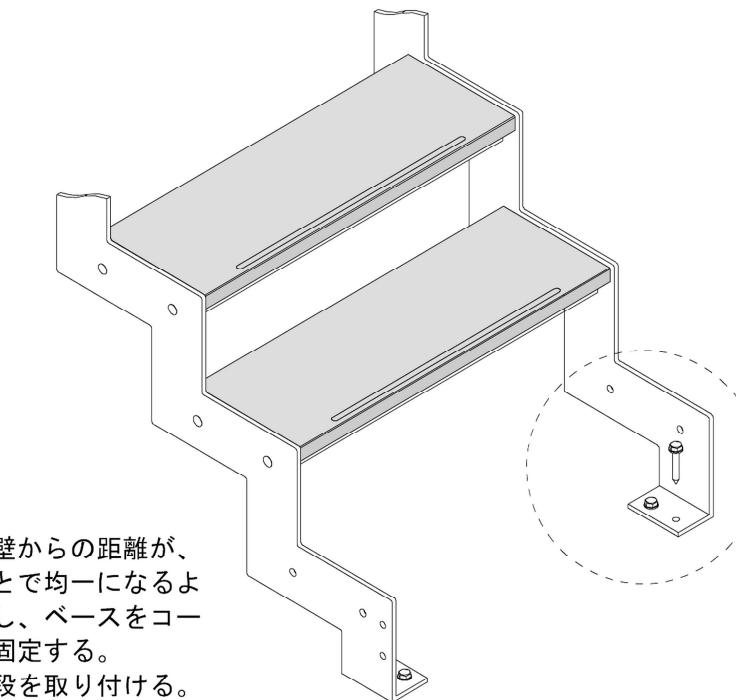
ササラ桁の上部を外側から  
M12ボルトで取り付ける。  
踏板を取り付けるまで、このボルトは仮締めの状態にしておく。  
足元はまだ固定しない。

## 4 踏板のササラ桁への取付



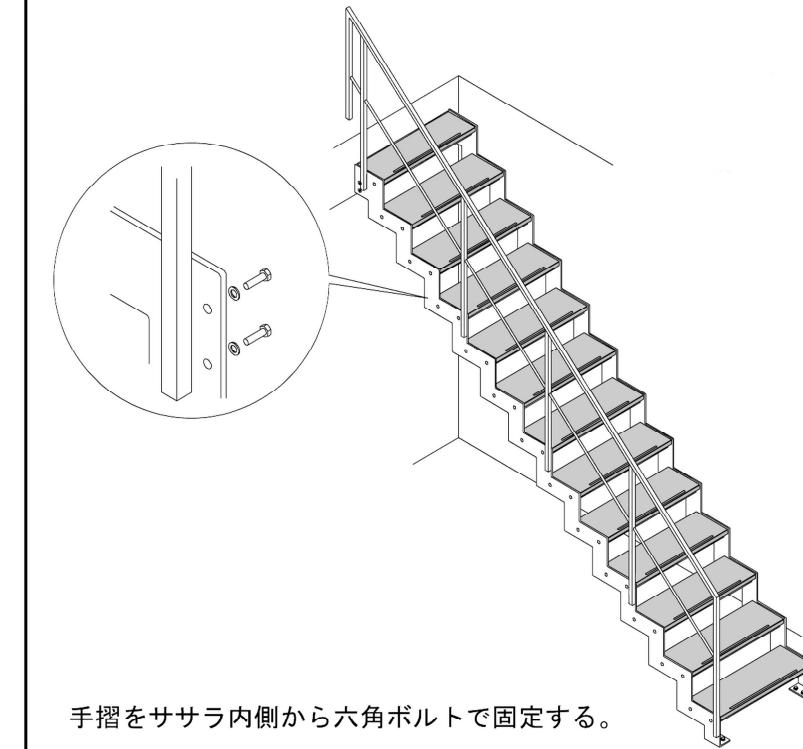
3でセットした、踏板をササラ  
桁に最上段からセットする。  
一度仮締めし最後に全段を本締めする。  
最下段はササラ桁下部を床固定した後、  
取り付ける。

## 5 ササラ桁下部ベースの床への固定



基準となる壁からの距離が、  
上部と下部とで均一になるよ  
うに微調整し、ベースをコー  
チボルトで固定する。  
最後に最下段を取り付ける。

## 6 手摺の取付



手摺をササラ内側から六角ボルトで固定する。

取り付けが  
終わったら

1. 鉄部分を点検し、万キズがありましたら同梱のタッチアップ剤で補修してください。
2. ボルトの締め忘れ、緩みがないかご確認ください。

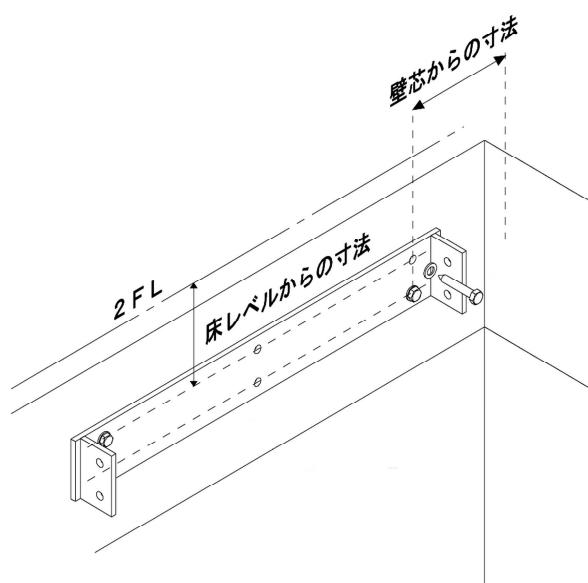
# 取付手順書（システム・THJ）

## 施工前の状況

- ・フローリングは仕上がっている。
- ・階段の接近する壁の石膏ボードとクロスは仕上げた状態。

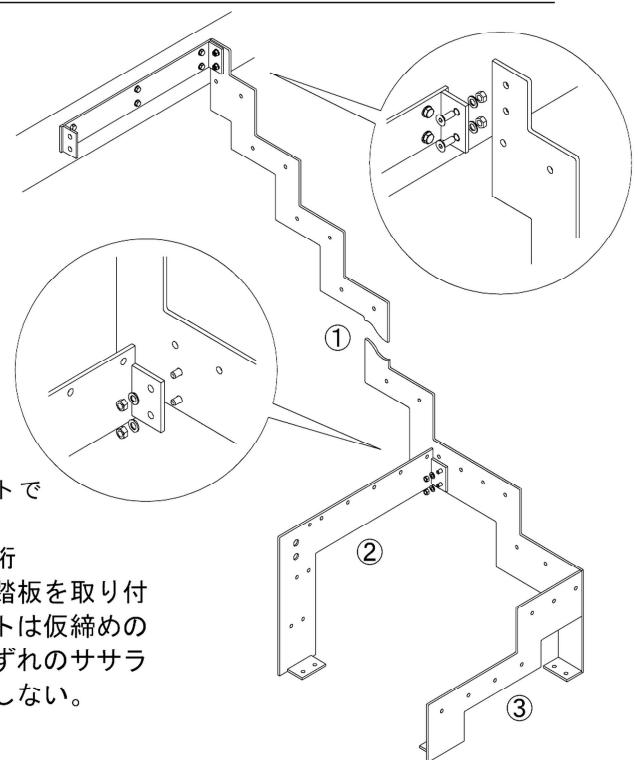
2014.01 (05)

## 1 梁付プラケットの固定



既送の図面を参考し、左右いずれかの壁面及び上階床レベルより  
プラケットの固定位置を追い出し、ボルト位置をけがく。  
そこに8mmの下穴を明け、プラケットをコーチボルトで固定する。

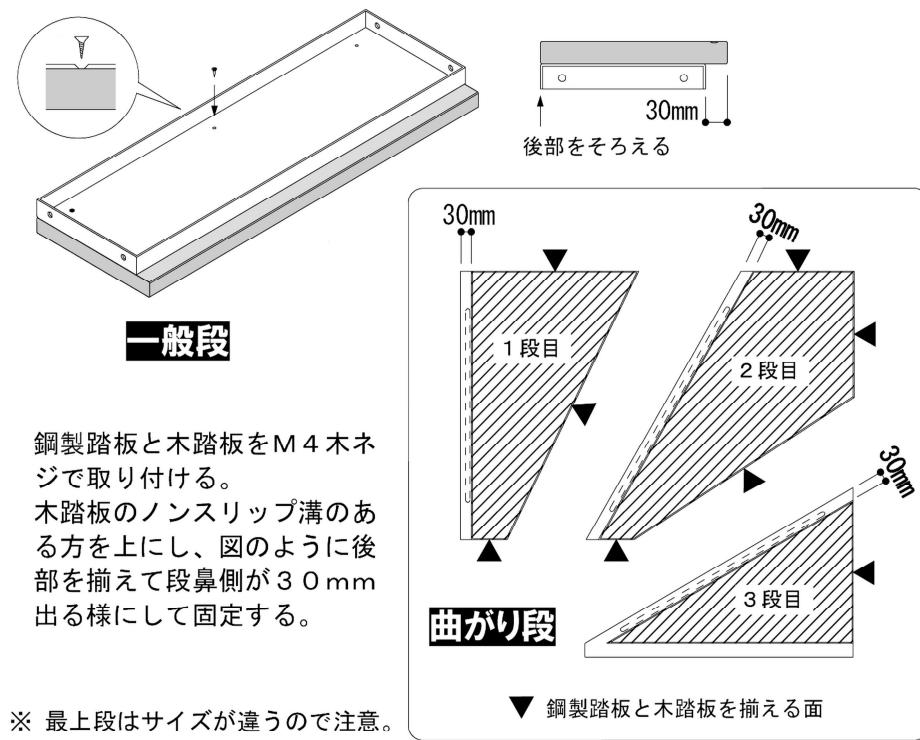
## 2 ササラ桁の上部をプラケットに取付



ササラ桁①の上部を  
外側からM12ボルトで  
取り付ける。

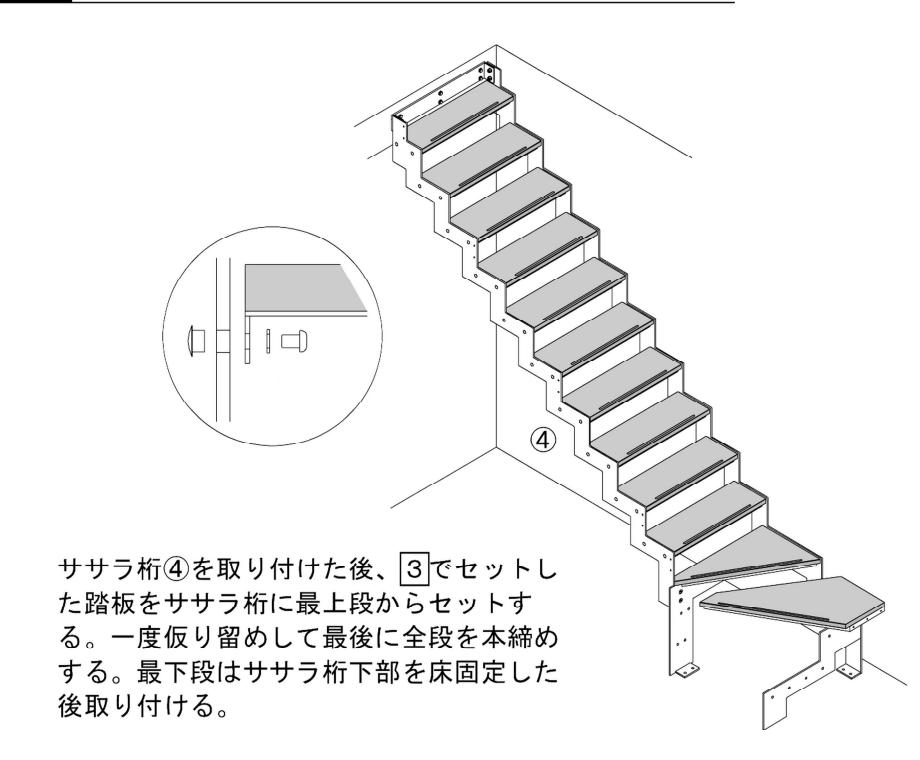
ササラ桁①にササラ桁  
②③を取り付ける。踏板を取り付  
けるまで、このボルトは仮締めの  
状態にしておく、いずれのササラ  
桁もまだ足元は固定しない。

## 3 鋼製踏板と木踏板の固定



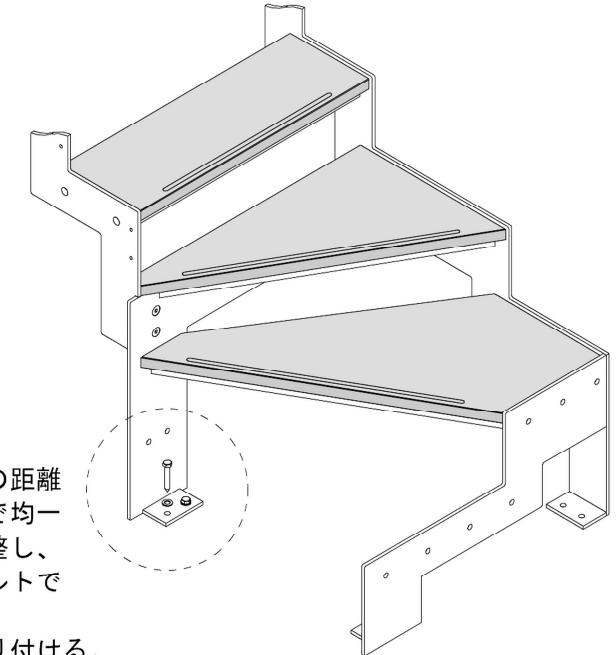
※ 最上段はサイズが違うので注意。

## 4 踏板のササラ桁への取付



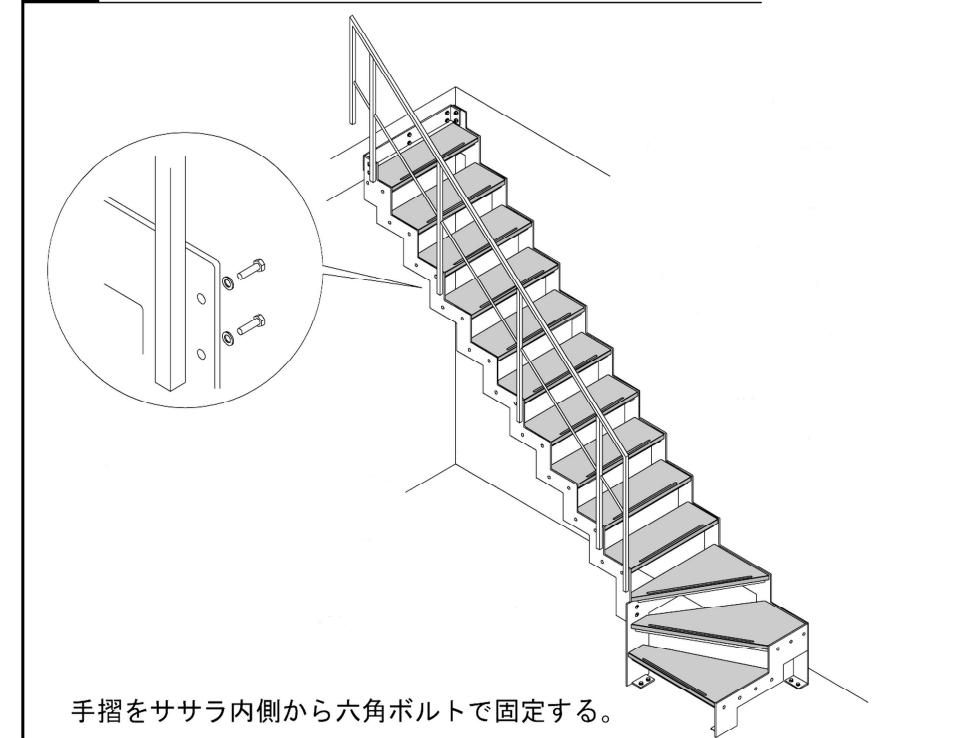
ササラ桁④を取り付けた後、③でセットし  
た踏板をササラ桁に最上段からセットす  
る。一度仮り留めして最後に全段を本締め  
する。最下段はササラ桁下部を床固定した  
後取り付ける。

## 5 ササラ桁下部ベースの床への固定



基準となる壁からの距離  
が、上部と下部とで均一  
になるように微調整し、  
ベースをコーチボルトで  
固定する。  
最後に最下段を取り付ける。

## 6 手摺の取付



手摺をササラ内側から六角ボルトで固定する。

取り付けが  
終わったら

1. 鉄部分を点検し、万キズがありましたら同梱のタッチアップ剤で補修してください。
2. ボルトの締め忘れ、緩みがないかご確認ください。